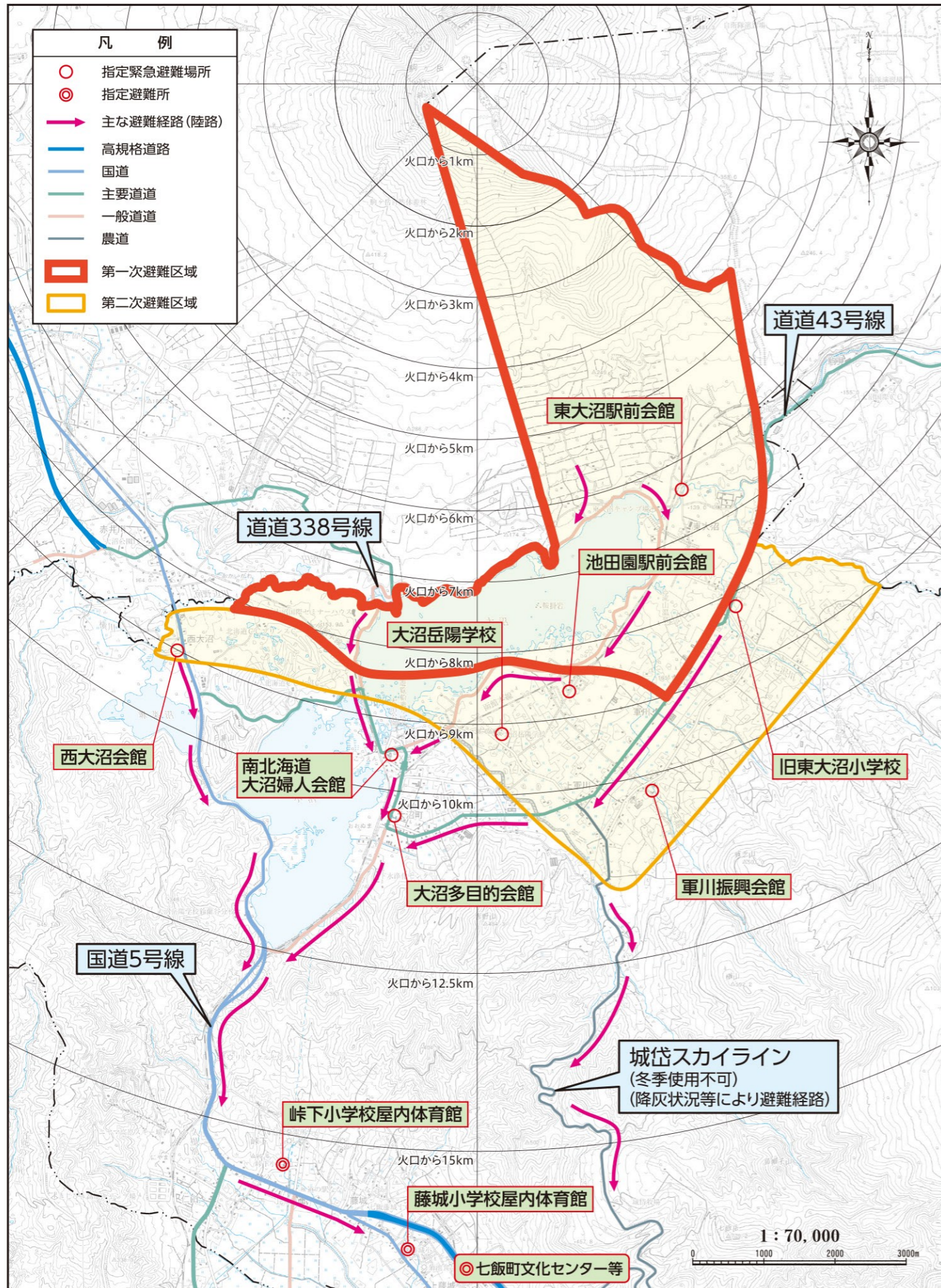


# 北海道駒ヶ岳避難経路図(七飯町)



# 噴火への備え

**普段の備え**

- 「北海道駒ヶ岳火山防災ハンドブック」で自分の住んでいる地域にどんな火山災害リスクがあるか確認しておきましょう。
- 火山災害情報の収集方法を把握しておきましょう。
- 避難時の持ち出し品の準備しておきましょう。

**噴火発生**

- 噴火警戒レベルの確認 (P14参照) = 防災行政無線等で町役場の情報を入手しましょう。  
※火口近くにいる場合は、直ちに火口から離れてください。
- 噴火警戒レベル4又は5の場合は、町役場の情報を確認して避難行動を準備しましょう。
- 町役場が発令する避難情報には、開設避難所の情報も含まれます。この情報を基に避難しましょう。

北海道駒ヶ岳近隣に居住する方は山の異変を感じた場合、町役場等に通報して下さい。  
大切な情報になります。

**避難行動**

火山灰の状況などを確認し、車が使える場合は車で避難所まで移動してください。(火山灰が道路に積もる前に早めに避難することが大切です。)  
居住場所周辺に自力避難が困難な要配慮者(避難行動要支援者)がいる場合は、声を掛け合い可能であれば一緒に避難してください。

**避難困難な場合**

逃げ遅れて居住場所が噴石や火山灰で覆われ、避難行動が困難な場合は、消防・警察・町役場に電話で救助要請をしてください。  
家の中で安全を確保し、持ち出し品の準備をして救助を待ちましょう。

# 火山灰に関する注意事項

## 火山灰から身を守る!!



噴火すると風向きにより火山灰が積もることがあります。  
**以下のような対策で被害を防ぎましょう。**



**●積もった火山灰の影響**

50cm	多くの木造家屋に被害が出ます。
30cm	木造家屋に被害が出はじめます。
10cm	自動車が走行できなくなります。
数mm	自動車の走行に影響がでます。目・鼻などに異常が出ます。
微量	鉄道が止まります。農業に影響が出ます。 ぜんそくなどの呼吸器疾患の人に影響が出ます。

**目を守りましょう!**  
ゴーグル等を着用し目を守りましょう。万が一目に入った場合は、目の表面に傷がつくおそれがありますので、こすらずに水で洗い流しましょう。コンタクトレンズの方は眼鏡に替えることをお勧めします。

**マスクを着用しましょう!**  
火山灰は非常に細かくトゲトゲしているため、呼吸器系の症状を引き起こす場合があります。  
マスクがない場合は、濡らしたハンカチで鼻と口を押さえましょう。

**運転に注意!**  
多量の降灰により視界不良となる場合があります。  
また、水を含んだ火山灰は滑りやすくなるため、徐行運転を心がけ、できれば運転はひかえましょう。

**火山灰の侵入を防ぐ!**  
火山灰は小さな隙間から家屋に入り込みます。  
窓等の隙間をふさぎ、火山灰の侵入を防ぎましょう。